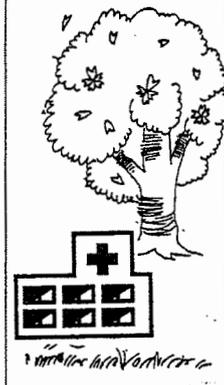




発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
西郷町城北町 355



来なく
なりました。
また老朽
化もあち
こち目立

病院の全面新築について

医療の充実と経営改善に向けて

病院長 笠木 重人

島後の住民有志で結成された「隠岐の医療を良くする会」が、隠岐病院の全面新築を求めるとして、去る三月十六日(土)、十七日(日)、サンテラス店頭において大々的に署名活動を展開されました。また、新聞への折り込み広告により「隠岐病院整備は私たち島民の手で！」と署名運動の趣意書を示し意見表明をされるなど、活発な運動を始められました。署名はわずか二日間だけで二九〇〇名近くを集められたとのこと。隠岐の医療を良くする会」の会員の皆様の熱意と、署名に応じられた住民の皆様のお気持ち

を考えますと、隠岐病院に働く者として、「期待に応えるようにがんばらなくては」と、身の引きしまる思いがします。この地に移転新築して二十五年、本土に行かなくても島の中で十分な医療が受けられるようにと、多くの方々のご努力で病院の充実が図られ、隠岐病院は大きく変わりました。例えば移転当時の常勤医師数は四名でしたが、現在は十八名です。整形外科などの外来や、MRI室など、何回も増改築が繰り返されました。その結果、現在の病院の建物はほとんど狭くなり、新たな医療需要に応えることが出

ちます。近年強く望まれるようになってきた、明るく快適な入院病室やプライバシー重視の外来診察室、院内感染などの医療安全への対策等々、現在の我が国の医療において当り前になってきたことへの対応が出来なくなってきた。速く対策を取らないと、隠岐の医療への信頼を失い、隠岐に安心して住むことが出来ないとして人口流出が進む結果になりそうな状態です。隠岐病院を経営する隠岐広域連合では、病院整備計画を検討中です。隠岐病院からは昨年末に隠岐広域連合に対して検討報告書を提出し、計画づくりの叩き台を示しました。医療の充実を図ることは当然ですが、赤字経営を改善し地元町村の財政負担を軽減することも前提にして検討した報告書です。地域の皆様に安心して信頼して使っていただける病院を、全面新築で整備する必要があります。と報



「隠岐を良くする会」の店頭での署名活動

告書で結論づけています。もちろん中身となる診療内容も職員一同で力を合わせて立派な病院にして参ります。「隠岐の医療を良くする会」の皆様と署名運動に参加された皆様に負けないように、病院で働く私たちはしっかりと頑張ります。新しい年度が始まりました。改めましてどうぞよろしくお願ひします。

花粉情報



毎年この時期になると、暖かい春の足音が待ち遠しい反面、憂鬱な花粉症に悩まされる日々を迎える事に恐怖を感じている方も多いと思います。花粉症の方にとっては、一年で一番長くつらい時期であるうと察します。

隠岐病院では島根医大の依頼を受けて、田中先生(耳鼻科)の指導の元に、スギ花粉・ヒノキ花粉の飛散調査を平成十二年から開始しています。まだ三年目でデータとしても乏しいのですが、ここ三年の隠岐地方の花粉飛散状況を報告したいと思います。

空中花粉調査法

空中を浮遊する花粉の種類と量を調べるのが空中花粉調査です。
自然落下する花粉を捕集す

る「重力法」と、一定量の空気を吸い込んで花粉を捕集する「体積法」があり、日本では重力法の「ダラム型捕集器」という簡便な装置が最も多く使われているようです。隠岐病院でもこのダラム型捕集器を使用しています。ワセリンを塗ったスライドガラスをダラム型捕集器に設置し、二十四時間毎にスライドガラスを交換して、二十四時間でスライドガラスのワセリンに付着した花粉の数を顕微鏡を使用して数えます。したがって、報告されるデータは前日に飛散した数を報告している事になります。

花粉の数ですが、 $1 \times 10^3 \sim 10^4$ c/m^3 の範囲を二箇所(6.48 c/m^3) 数え、花粉の総数を6.48で割って 10^3 当たりの花粉数に換算して報告します。そうする事によって、どの地域で測定されたデータとも同じように比較できるようになります。

ちなみに、 10^3 は片目ぐらいの範囲で、もし一日中外で目を開けていたとしたら、片目だけに付着する花粉の数と考えれば、分かり易いでしょう。

花粉数の見方 (規準)

0 / c/m^3 : 0

~< 5 / c/m^3 : 少ない



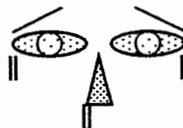
予防薬を準備しましょう

~< 20 / c/m^3 : やや多い



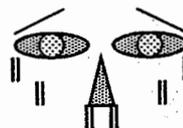
外出時はメガネ・マスク・帽子などを着用しましょう

~< 50 / c/m^3 : 多い
(注意報)



帰宅したら衣服の花粉を払い、目や鼻を洗いましょう

50 / c/m^3 ≤ : 非常に多い
(警報)



外出はできるだけ控え、風の強い日は窓を閉めましょう

ここ3年のデータ



飛散開始：1.0 /c m²以上が2日連続した時点を飛散開始としています。
飛散終了：1.0 /c m²未満が3日連続した時点を飛散終了としています。

	年	飛散開始日 ~ 飛散終了日	飛散期間	1日最高飛散数	期間総数
スギ	2000年	3月1日 ~ 4月12日	43日間	512.6 /c m ²	4621.3
	2001年	2月21日 ~ 4月4日	43日間	329.3 /c m ²	1723.6
	2002年	2月1日 ~ 飛散中		1234.6 /c m ²	
ヒノキ	2000年	4月1日 ~ 4月14日	14日間	201.0 /c m ²	82.2
	2001年	4月6日 ~ 4月20日	15日間	15.7 /c m ²	810.1
	2002年				

* スギ花粉は隔年で飛散の多い年と少ない年を繰り返すことが知られています。
2000年からのデータから今年(2002年)は隠岐地区は多い年に当たると見られ、1日最高飛散数は今年が最高値を記録し、期間総数も前年より多くなる模様です。

* ヒノキ花粉はスギ花粉が終了する頃から飛散開始する傾向にあります。



知っておきたい花粉の飛び方

・一日のうちでは昼過ぎと日没頃花粉が多く飛びやすい。一般に昼間気温の上昇と共に開花して花粉が飛び始め、昼過ぎにピークとなります。空中に飛び出した花粉は気流に乗って上空へ運ばれて行き、夜には再び地上に落下してきます。そのため気象条件によって変わりますが、昼過ぎの一時(三時頃)と落下してくる夕方(五時~七時頃)が多く飛んでいます。

・カラリと晴れた暖かい日には、開花も多く花粉も多く飛びます。さらに風が強いと特に注意が必要です。

・雨が降った翌日に良く晴れ上がると、前日、雨の為開花できなかつた分まで一緒に開花するため大量の花粉が飛びます。実際に花粉調査をしますと、雨の次の日に急激に多くなる事を経験します。



おわりに

花粉症対策には、抗原である花粉と出来る限り接触しない事が基本となります。そのためには、自分の住んでいる地域の花粉が、いつから・どのくらい飛ぶのかといった花粉情報が重要になります。花粉情報をうまく利用した、花粉との接触を避けるセルフケア(生活療法)が欠かせません。また、隠岐病院耳鼻科では、スギ花粉の飛散が始まる前から治療を行う初期治療を実施しており、毎年スギ花粉症に悩んでいた患者様の症状改善を図っています。早めにご受診・相談されるといいでしょう。

隠岐病院では、今年からホームページに花粉情報を掲載しています。データとしては三年目で、まだまだ少ないですが、年々充実した情報が提供できるようになると思いますので、ご利用下さい。



寄贈ありがとうございます

うげいざいます

去る一月、隠岐島木材業製材業協同組合様及び県隠岐支庁農林局様より、ヒノキとクリの木で作られた、テーブルといす四脚の二セットを寄贈していただきました。同時に「木を使うことの大切さ」をテーマで募集された標語で、入選された二人の児童の自筆標語パネルも設置しました。患者様・お見舞いなどの皆様にとってもやさしい感じがすると大変喜ばれています。どうもありがとうございます。

入選された標語は

「木を使い隠岐を守ろう 日本を守ろう」
加茂小五年 岩水太一

「家を建てるなら故郷の木」
加茂小六年 広江友恵

「岩水太一君の標語からは、木を使うことで郷土の自然や環境を守っていこうという強い意志が感じられます。また、広江友恵さんの標語からは、故郷で育ち、何十年にもわたって故郷を守ってきた木に対する愛情と感謝の気持ちを感じられます。」と選考のことば。ご入選おめでとうございます。

ご入選おめでとう

西郷 輝く優秀賞 児童2人表彰



「木を使うことの大切さ」をテーマに、隠岐島製材業協同組合及び県隠岐支庁農林局の協賛で、2月11日、福地町立の福地小学校で、児童2人表彰式が行われ、加茂小学校の児童2人が、

表彰を受けたのは「木を使い隠岐を守ろう 日本を守ろう」の作品を提出した、加茂小五年の岩水太一君と「家を建てるなら故郷の木」の木の広江友恵さん(小六)。

山陰中央新報より

お詫びと訂正

前号(第41号)「一日消防署長を務めました」の記事の中で、下西・双葉保育所の園児達による…とありましたが「加茂保育所・文化幼稚園の園児たちの間違えでした。紙面をお借りして訂正し、お詫び申し上げます。

皮膚科の診療時間について

(4月23日からの診察時間)

午前 9:30~11:30まで
午後 12:00~14:30まで
受付 (8:00~11:00)

—ご注意— 患者様が多くなりますと受付を止めさせていただくことがありますのでご了承ください。

異動

採用(三月まで)

*若本久美子(十七条事務員)
*安部 保子(日々准看護婦)

退職(二月まで)

*新谷 政美(准看護婦)
*吉村みづえ(パート准看護婦)
*藤田 雪美(十七条准看護婦)
*野津 幸子(十七条事務員)

あてがき

今年の桜は、記録的な速さで開花し、春を告げる風「春一番」より早かったそうです。三月は、さまざまな行事の区切りの季節です。学生は、学び舎を巣立ち、社会も年度替りでリフレッシュの時を迎えます。しかし不況の嵐は当分の間、止みそうにもありません。こんなとき、いつの時代にも必要とされるのは、「根気」と「堅実さ」ではないでしょうか。さあ、縮こまっていないうで、新年度に向かって心機一転、ガンバロウ!